

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1141	施策名	便利で安全な道路があるまち	主 担 当 課	建設企画課
大項目	安全で快適なまちづくり			関係課	建設事業課
基本 方針	道路は住民の日常生活に必要不可欠であり、また経済活動を推進するための基盤でもあります。そのため、効率的な道路網を形成し利用者がスムーズに移動できるようにすると同時に、安心して利用できるよう道路や橋梁の安全性を高めます。			関係課	都市計画課

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	バイパス等整備促進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民及び国道2号利用者		国道2号の渋滞の解消、利便性の向上、地域発展のためにバイパスの早期完成を目指す。				・国道2号玉島笠岡間整備促進協議会事務局事務						
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	●国道2号玉島笠岡間整備促進協議会要望活動等			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	371	千円	決算額	419	千円	決算額	419	千円	決算額	415	千円
	うち一般財源	371	千円	うち一般財源	419	千円	うち一般財源	419	千円	うち一般財源	415	千円

2	道路新設改良事業												
事務事業の目的					事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
道路を利用する利用者と付近に在住の市民		道路を整備することにより、道路の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。			計画の策定、要望書の受理、測量・調査・設計業務の発注、地元説明会の開催、用地の取得、物件の補償、工事の発注、工事の監督管理、検査確認								
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容	●道路整備事業 要望受理・現地調査・道路改良 工事着手			⇒			⇒			⇒			
直接 事業費	決算額	262,103	千円	決算額	166,341	千円	決算額	287,160	千円	決算額	300,719	千円	
	うち 一般財源	60,560	千円	うち 一般財源	85,682	千円	うち 一般財源	119,197	千円	うち 一般財源	106,854	千円	

3		都市計画策定業務											
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
都市計画区域内に在住の市民		・健全で均等のとれたまちづくりの誘導を図る。 ・効率的な道路網を形成し、便利で安全な道路の整備を促進する。					・都市計画法の主旨を遵守し、健全なまちづくりを誘導する。 ・地方分権時代に対応した、地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。 ・都市計画審議会の健全な運営に努力し、都市計画への反映に努める。 ・長期未着手となっている都市計画道路の必要性について再検討し、必要に応じて都市計画の廃止、変更を行う。						
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●用途地域などの変更 ・線引き廃止の効果把握 ・必要に応じた都市計画の変更			⇒			⇒ ●都市計画図の電子化を行うため、航空写真の撮影及び都市計画図既成図の数値化を実施する。 ●JR笠岡駅南改札口設置に伴う事業手法の検討及び事業効果の分析を行う。 ●土地利用の見直し事業として都市計画基礎調査を行う。 ●都市計画マスタープランの見直しを行う。			⇒ ●過年度業務で実施したデータにより最新の都市計画図に修正を行う。 ●JR笠岡駅南改札口設置に伴う基本構想を策定する。		
		決算額	1,941	千円	決算額	4,705	千円	決算額	60,697	千円	決算額	27,497	千円
直接事業費		うち一般財源	1,805	千円	うち一般財源	4,577	千円	うち一般財源	32,914	千円	うち一般財源	27,390	千円

4		橋梁新設改良事業											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
橋梁を利用する利用者と付近に在住の市民		橋梁を整備することにより、橋梁の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。				計画の策定、要望書の受理、測量・調査・設計業務の発注、地元説明会の開催、用地の取得、物件の補償、工事の発注、工事の監督管理、検査確認							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度					
取組内容		●橋梁整備事業 ・要望受理・現地調査 ●隅田川1号橋改修工事 ・詳細設計着手 ○尾坂川19号橋改築工事 ・測量設計		●橋梁整備事業 ・要望受理・現地調査 ●隅田川1号橋改修工事 ・工事着手 ○尾坂川19号橋改築工事 ・工事施工 ○今立川8号橋新築工事 ・測量設計		●橋梁整備事業 ・要望受理・現地調査 ●隅田川1号橋改修工事 ・橋梁下部工施工・上部工の桁作成 ○今立川8号橋新築工事 ・工事施工		⇒ ●隅田川1号橋改修工事 ・橋梁上部工の施工、道路舗装工等 ⇒ ●橋梁長寿命化事業 ・定期点検					
直接事業費		決算額	26,106	千円	決算額	138,431	千円	決算額	316,753	千円	決算額	358,206	千円
		うち一般財源	11,846	千円	うち一般財源	1,621	千円	うち一般財源	130,093	千円	うち一般財源	39,437	千円

5		土木施設維持管理業務											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
土木施設利用者		土木施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。				・生活道路の維持修繕管理(市道認定、廃止、変更など)事業 ・橋梁の維持修繕，管理事業 ・河川・排水路の維持修繕，管理事業 ・交通安全施設修繕，整備事業 ・土木施設(単独)小災害復旧事業							
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		・アダプト団体の募集			⇒			⇒			⇒ ●排水ポンプ設置工事(神島・美の浜)		
直接事業費		決算額	179,422	千円	決算額	223,490	千円	決算額	231,554	千円	決算額	372,841	千円
		うち一般財源	174,389	千円	うち一般財源	208,378	千円	うち一般財源	211,672	千円	うち一般財源	303,441	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	469,943	千円	533,386	千円	896,583	千円	1,059,678	千円
うち一般財源	248,971	千円	300,677	千円	494,295	千円	477,537	千円

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	道路の整備状況に満足している市民の割合 (市民意識調査)	単位	目標				—	35	38.0
		%	実績	31.2	—	28.5	—	27.9	
			達成率					79.7%	
2	都市計画道路の整備率	単位	目標				50.9	50.9	53.0
		%	実績	49.2	50.9	50.9	50.9	50.9	
			達成率				100.0%	100.0%	
3	橋梁の点検実施数(累計)	単位	目標				48	64	614
		橋	実績	45	46	47	48	64	
			達成率				100.0%	100.0%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・道路、橋梁等の整備には、長時間と多くのコストが伴うので、交通の流れ等を勘案して、緊急度に基づいた整備が必要と考えられます。	→ 道路、橋梁等の整備に関しましては、災害時の最重要路線、著しい損傷があり危険な道、避難路、緊急車両が通行できない狭い道等を勘案し、地元要望者と協議をしながら優先順位をつけて事業を執行します。 (対応) 災害時緊急避難路となる隅田川1号橋の供用開始をはじめ、狭い道路等について地元関係者と協議を重ねる中で、優先順位を付け事業を執行しました。
・橋梁工事の改修工事等は今後増加すると思われる。長寿命化を図れる工法を先駆的に取り組み、コストを削減していただきたい。 ・橋梁の長寿命化の事業について、工事費が資機材の高騰で頭が痛いところであるが、新しい工法の工夫等をして、安全安心な暮らしのために頑張ってもらいたい。	→ 笠岡市にある約770橋の橋梁につきましては、法に基づき平成26年度から5年間で全ての橋梁を点検します。その点検等で修繕箇所を早期発見することで、施設の寿命を延伸します。また、施工につきましては、新しい工法等を取り入れることにより、コスト縮減に努めてまいります。 (対応) 初年度の定期点検は、特に緊急性が高いと考えられる橋梁について、20橋の点検を行いました。順次点検を行い、修繕・更新を行うことで施設の長寿命化を図り、コスト縮減を行います。
・駅前での放置自転車について、朝2時間の見守りボランティアを頼む等、人の目、声かけも必要ではないでしょうか。	→ ご意見の見守りボランティアについては、他市事例も参考にしながら検討しましたが、誰に依頼するのか、トラブルが起きたときの対応はどうするか等の問題があって実現できず、今後、研究していくことが必要と考えます。 現在、笠岡市自転車等放置防止条例に基づく放置自転車の撤去の他、「声かけ」の取り組みとして次の啓発活動の実施を強化していくことにしています。 ・放置された自転車への注意ビラの取り付け頻度を増やす。 ・中学校や高校へ啓発ビラを配布して、学校からの指導をお願いする。 その他、看板だけでは効果が薄いため、禁止区域の路面に駐輪しにくい標示をするなど、「人の目」を意識せざるを得ない状況がつかれないか研究中です。 (H26対応) 平成27年3月に笠岡駅西駐輪場(跨線橋下)を200㎡拡大し、約40台分の駐輪スペースを確保しました。合わせて、駐輪場内の長期放置自転車を撤去しました。さらに、平成27年4月から条例に基づき、駅前の放置自転車を継続的に撤去していく予定にしています。
・道路環境の整備は、各種交通機関との連携を前提に、選択と集中が必要だと思います。	→ 利便性、経済性を優先した道路の整備も大切ですが、一方、地区要望を中心とした狭い生活道路の拡幅改良も、道路の整備として大切となります。市内には、そのような狭い道路がまだ多く、救急車や消防車のような緊急車両の進入を容易にし、市民の生活環境の改善を図ることを目的とした道路整備を促進したい。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	都市計画策定業務 1・開発行為及び笠岡市開発の調整に関する条例による開発行為届出において、以前からの未完了案件の全てに対しては、引き続き指導、是正指示等を行い、全ての手続き等が完了するよう粘り強く実施する。 ・土地利用の見直しに伴い、一部の用途地域や特定用途制限地域の変更となった場合、土地利用について点検等の見回りを強化する。 2・JR笠岡駅南周辺整備に係る基本構想を作成し、都市再生整備事業の事業化を推進する。
	道路新設改良事業 (課題) ・用地取得に時間を要し、工事着手が遅れているケースが多く、また新規要望箇所の増加もあって未着手箇所が増加している。 (改善策) ・要望箇所や事業費の増加に対し、有利な特定財源の確保を行う。 ・要望箇所の早期着工、完成に向け、新規箇所の概略設計を1年前倒しして行うなど、地元の合意形成や用地取得を確実なものとする。
	橋梁新設改良事業 (課題) ・2m以上の橋梁について、平成26年度から5年に1度の点検が義務付けられたことにより、指標の目標値を平成26年度から新たに設定する。なお、既存の橋梁は、架設してから30年以上経過するものが全体の9割を超え、今後、修繕及び更新にかかる費用の増大が考えられ、事業費の確保が課題となる。 ・未着手の要望箇所については、財政状況を踏まえながら緊急度や住民ニーズを勘案して対応する必要がある。 (改善策) ・定期的に点検を行うことで補修箇所を早期発見し、施設の長寿命化を促進することで将来のコスト削減を図り、老朽化調査や対策工事費の財源確保を行う。 ・未着手の要望箇所の内、緊急性の高いものは、早期着手できるように地元調整や財源の確保を行う。

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・駅前の放置自転車がなくなり、通行がスムーズになった。トイレの利用も便利になった。 ・橋について、隅田川1号橋は本橋となり、安全安心して通行できるようになった。点検・修理で市民の安全通行に努めてください。 ・橋梁の点検を工業高校の生徒さんもお手伝いして下さっているという話をお聞きしたことがあります。工業高校さんとも協力していただいて、安全な橋梁作りが出来たらよいと思います。			